



社会福祉法人 恩賜財団 済生会和歌山病院

〒640-8158 和歌山市十二番丁45番地  
TEL. 073-424-5185  
FAX. 073-425-6485



ホームページ: <http://www.saiseikai-wakayama.jp/>

# 済生会

わがやま

# NEWS

第24号

発行日: 2013.3



## ～ 理 念 ～

私たちは、地域社会に親しまれ、信頼され、患者さんも職員も元気になる病院をめざします。

## 患者さんの権利と責務

1. 平等に良質で適切な医療を受ける権利があります。
2. 医療に際して十分な説明を受ける権利があります。
3. 検査・治療等に際してそれを受ける事を自己の判断のもと承諾あるいは、拒否する権利があります。
4. 医療のどの段階においても他の医師や医療機関の意見を求める権利があります。
5. 自己の病状について情報を得る権利があります。
6. 自己の病状について個人的情報の秘密を守られる権利があります。
7. 医療に関する苦情を申し立てる権利があります。
8. 良質な医療を実現するために、自己の健康状態に関する情報を正確に伝える責務があります。
9. 治療費を支払う責務があります。
10. 良好な療養生活を守るために、定められた諸規則を守る責務があります。
11. 医師・看護師や病院職員の指示に従う責務があります。

## — Information —

### 満足の医療



平成25年2月、今年で済生会和歌山病院は当地に移転して10年目を迎えることになりました。今回はある有名人のがん克服記について話をしたいと思います。有名なジャーナリストのT氏は、1940年生まれです。65歳で直腸がんを患い、67歳で肺に転移が見つかり、さらに肝臓にも転移が見つかり、これまでに4度の手術を受けています。彼は4回の手術を乗り越え、見事に社会復帰しました。その後彼はこう言っています。「病と向き合い克服していくことで、人は強くなれる」、「がんは僕の人生にイエローカードを突きつけた。これまでの生活を改めさせるきっかけを作ってくれたので、むしろがんになったことで健康になったと思っています」。今ではジムにも通い、70歳から肉体改造に挑戦し、がんになる前よりもさらに筋肉質の体を作り上げたそうです。

彼はガンとの闘いを乗り越えた人気キャスターとしても有名になりました。私は彼の強靱な精神力と体力に感動し、また彼を終始サポートし、彼のがん治療にかかわってきた医療関係者の頑張りにも敬意を表したいと思います。

そんなT氏の講演を、昨年秋の済生会学会で聞くことができました。彼は患者としての経験談を熱っぽく語ってくれましたがその多くは医師をはじめとする医療スタッフへの助言でした。彼の鋭い指摘から、患者さんに向きあう医療について様々なことが思い浮かんできました。安心安全の医療についてはいつも心がけ、その環境は徐々に整いつつあるように感じてきましたが、さらに一歩進んだ「満足の医療」という観点で現状ではまだ足りないのではないかと思います。その原因の一つは患者さんと医療関係者間のコミュニケーション不足ではないかと私は考えます。私たち医療従事者には日々経験している日常なことで、一言二言聞いただけで理解できることも、患者さんには非日常的なことであり即座に理解できないことが多いのではないのでしょうか。わかりやすい言葉で丁寧にコミュニケーション不足をなくしていくことこそが「満足の医療」につながっていくと私は考えています。

今年も、私たちは地域社会に親しまれ、信頼され、患者さんも職員も元気になる病院をめざします。本年もよろしく願い申し上げます。

院 長 松崎 交作

## 平成24年度 感染対策研修会

感染対策委員会 荒古 道子

平成24年11月26日(月) 17時30分から当院7階講堂(多目的ホールにて講堂の映像を配信)で院内参加者152名、院外参加者6名にて盛大に行われました。

講演の前に、感染対策委員である看護部主任岡本恵美から「済生会和歌山病院における器具消毒の現状 第2報」と題して、職員に報告会を行いました。その後、山口大学医学部附属病院 薬剤部・副薬剤部長 准教授 尾家重治先生から「器具・器械、環境の消毒」と題して約1時間講演して頂きました。

講演の内容は、滅菌・消毒など臨床場面でよく遭遇する内容であり、事務局や一般の人でもわかりやすい内容でした。

また、講義に先立って講師の尾家先生と感染対策委員で院内ラウンドを行い、先生からいろいろとアドバイスを頂きました。今後の委員会活動に生かしていきたいと思います。



松崎院長より開会の挨拶



第1会場研修風景



第2会場研修風景



講師・尾家先生と感染対策委員会メンバー

## 第4回TQM大会報告

済生会和歌山病院 TQM委員会 仲 寛

病院の医療の質向上をはかる為、患者サービスの向上、チーム医療の推進、職場の業務改善などに関する院内研究発表会を2009年から始めました。この院内の研究・活動を奨励し推進するTQM (total quality of management) 大会は、年に一度全職員が一同に会する病院行事で、第4回大会は2012年9月8日(土)、当院7階講堂にて、職員96名の参加があり盛況にて終了しました。堅苦しい研究発表会ではなく、副賞や景品ありの楽しい和やかな雰囲気の中で、楽しみながら活発な意見交換がなされました。今後の医療の質向上につながっていくものと確信しています。演題数は9題で以下のとおりでした。

- ① 失敗から学んだこと ノロウイルス院内感染を経験して (3-東病棟 岡本真紀)
- ② EPAへの関わりを通じて学んだことと今後の課題について (4-西病棟 小倉千佳)
- ③ パンフレットを使用したDVT予防への取り組み (4-西病棟 古谷唯)
- ④ アウトブレイク後の対応報告 (6階病棟 小河加瑞子)
- ⑤ 安全な輸血を行うために (検査室 高田麻未)
- ⑥ 当院における輸液ポンプ・シリンジポンプの中央管理について (ME 秦将彰)
- ⑦ 「A病院における針刺し事故の実態～インスリンの針刺し事故を検証して (医療安全管理室 川崎伸造)
- ⑧ 予算における費用算定方法の検討 (総務 野村美鈴)
- ⑨ 無料低額診療事業とは (MSW 古川智子)

最後に、表彰式が行われ以下のとおりの結果となりました。

優勝: 「アウトブレイク後の対応」 (6階 小河加瑞子)

2位: 「無料定額診療事業とは」 (MSW 古川智子)

3位: 「失敗から学んだこと ノロウイルス院内感染を経験して」 (3 東 岡本真紀)



座長と被表彰者

## ～ 地域連携室からのお知らせ ～



### 駐車場の増設について



後ろは病院建物

病院北側に、新たに外来患者さん専用駐車場が33台分できました。

従来の病院南側駐車場36台と合わせて合計69台となり、外来患者さんにご迷惑をかけていました駐車場の混雑も緩和できるものと考えています。

尚、当院駐車場が満車の場合はダイフロイネットホテル北側の立体駐車場をご利用下さい。

料金は南側・北側と同様、1時間30分までは無料となりますので、会計時に駐車券の提示をお願い致します。

## 登録医のご紹介

野村内科医院

野村 康晴先生



私は、和医大を卒業後、同附属病院、大手前病院（大阪市）でお世話になり、その後和歌山市中之島で内科を開業しております。専門は消化器病ですが、来院される患者さんに専門性（？）はなく老老（？）男女の一般診察から家庭内事情の雑談まで毎日こなしております。

17年前に開業して以来、済生会和歌山病院には一方ならずお世話になっております。中之島は和歌山市内でも高齢化率の高い地区です。急変する患者様も少なくなく、貴院にはご無理をお願いしたことが多々あります。その際には迅速かつ的確に対応して頂き、この場をお借りして御礼申し上げます。無床の医院には、このようなサポートは本当に有り難いことです。先生方の不断のご努力と、地域連携室をはじめスタッフの皆様の皆様のご尽力に衷心より敬意を表します。今後も我々開業医と良い連携構築を進めて頂ければこんな心強いことはありません。

また主催して頂く研究会、勉強会が私には楽しみなイベントです。実際の診療に役立つ話題から最新の情報を分かりやすくご呈示頂き、大変役に立っております。今後も続けて頂けると一開業医としては大変うれしく思います。

お願いばかり書きましたが、今年が皆様にとって素晴らしい1年になる事をお祈りしてご挨拶とさせていただきます。

# 濟生会和歌山病院外来診療予定表

(平成25年1月1日現在)

区 分		月	火	水	木	金
内 科	消化器内科	山原 邦浩	—	山原 邦浩	合田 杏佑	川口 雅功
		文野 真樹	—	川口 雅功	—	文野 真樹
	糖尿病代謝内科	巽 邦浩	—	荒古 道子	巽 邦浩	荒古 道子
	循環器内科	片岩 秀朗	大鹿 裕之	片岩 秀朗	辻岡 洋人	大鹿 裕之
—		辻岡 洋人	—	—	—	
脳神経外科	山家 弘雄	仲 寛	山家 弘雄	仲 寛	林 靖二	
	三木潤一郎	—	林 宣秀	三木潤一郎	—	
外 科	—	高垣 有作	山本 暢子	—	—	
	重里 政信	川嶋 秀治	重里 政信	—	中村 恭子	
	—	—	ストーマ外来	—	—	
心臓血管外科	久岡 崇宏	—	久岡 崇宏	岩橋 正尋	岩橋 正尋	
整形外科	岡田 基宏	岩橋 弘樹	新患診	松崎 交作	岡田 基宏	
	中谷 匡登	山崎 悟		山崎 悟	中谷 匡登	
	曾根勝 真弓	—		岩崎 弘樹	—	
リハビリテーション科	医大応援医師	中川 真理	中川 真理	中川 真里	中川 真理	
耳鼻咽喉科	—	—	医大応援医師	—	—	
腎センター	—	—	—	岡本 昌典	—	
眼 科	金 桂洙	宮本 武	—	泉谷 愛	山中 修	
皮 膚 科	上中 智香子	—	—	山本 有紀	—	
泌 尿 器 科	—	小川 隆敏	—	—	曲 人保	

【受付時間】 午前（全科）8時30分～11時00分（但し、予約患者は除く）

- \*土曜日は休診です。
- \*腎センターは木曜日午後 保存期外来を実施。
- \*月曜日午後1時から予約制で禁煙外来を行っています。
- \*眼科は水曜日休診となっております。
- \*水曜日はストーマ外来を実施しています。  
(予約制・初診の方は紹介状が必要です)

\*当院では予約診療を行っているため、予約無しで来院された場合は紹介状をお持ちの方にもお待ち頂くことがございますのでご了承ください。



## 診療案内

診察日：月～金曜日  
 受付時間：午前8時30分～午前11時（但し、予約患者はこの限りにあらず）  
 休診日：土・日・祝祭日（年末年始）  
 面会時間：月～金曜日 午後2時～午後7時 土・日・祝祭日 午前10時～午後7時



## 交通案内

- JR和歌山駅から和歌山バス約10分「京橋」下車、徒歩すぐ
- 南海和歌山市駅から和歌山バス約5分「京橋」下車、徒歩すぐ

## 地域医療連携室

TEL (073) 424-5186 FAX (073) 424-5187